

先端機器利用による陶磁器製インテリア製品

ならびに生活用食器のデザイン研究

水野 潤 長谷川恵子 森本 健*

Study on Designs of Tableware and Novelties

By

Jun MIZUNO, Keiko HASEGAWA, and Ken MORIMOTO*

インテリア用品として生活をより楽しく、個性的な演出ができ、しかも時代の要求でもある「地球に優しい」、「ゴミの減量」などをキーワードに、家庭内の各種詰め換え用容器及び多目的容器をデザインした。CADの3次元シミュレーション機能を使ってレンダリングを作成して検討を行い、そのうち5アイテムについて試作品を作成した。

1. 緒 言

瀬戸地区は、陶磁器産地としての長い歴史の中で多種多様な陶磁器製品を生産し、特色ある産地を形成してきた。しかし現在、人件費の高騰、円高などの経済環境の悪化や他産地との競争などの問題を抱え、業界はこれまでにない厳しい局面を迎えており、国内市場で競争力を有する新規性の高い製品開発が求められている。

また一方で、環境やゴミの問題が各方面で論議されている今日、「地球にやさしい」をテーマに省資源、リサイクルへの関心が高まっている。商品のパッケージについても、詰め換えを前提にしたリターナブル容器（循環使用する容器）や簡易なパッケージを再評価する動きがあり、生活者の好みやインテリアの嗜好にあった個性的な詰め換え用容器を必要とする状況にある。

これらを踏まえ、本研究では、①競合商品が少なく、新規性のある商品による市場開拓、②省資源やリサイクル等の時代の要求に添う製品開発、③瀬戸地区の陶磁器製造技術を活かせるアイテム、④インテリア製品として、生活をより楽しく個性的に演出できるアイテム、以上4つの観点から開発アイテムを各種詰め換え用容器を中心に絞り、3次元CADを用いてデザイン開発を行った。

2. アンケート調査

生活者に対してアンケートを実施し、食品から洗剤にいたる42種類の商品について詰め換え容器のニーズ意識調査を行った。その結果は表1に示す。この結果、レギュラーコーヒーに見られるように販売形態が缶とプラスチックシートパックの二通りあるものは、どちらのパッケージの商品

表1 詰め替え容器に対する意識

	A	B	C		A	B	C		A	B	C					
1 醤油	3	1	2	8	3	8	8	5	29 緑茶	4	7	9	2			
2 醤油(卓上)	5	3	3	0	16 小麦粉	2	3	3	8	0	30 味噌	3	0	3	0	2
3 ソース	3	8	1	9	17 スパゲッティ	1	5	4	1	4	31 シャンプー	5	5	1	5	
4 ケチャップ	7	5	1	2	18 日本酒	1	1	4	2	3	32 ハンドソープ	5	3	1	4	
5 酢	9	5	1	2	19 ウイスキー	3	4	8	2	33 食器用洗剤	1	8	3	6	6	
6 バター	1	3	4	3	20 ワイン	1	4	8	3	34 洗濯洗剤(粉)	8	4	5	5		
7 マヨネーズ	5	5	6	0	21 その他酒類	3	4	8	2	35 洗濯洗剤(液)	3	4	0	2		
8 サラダオイル	1	2	4	8	22 牛乳	6	5	1	2	36 漂白剤	2	5	1	4		
9 ドレッシング	6	5	2	2	23 ジュース	4	5	3	4	37 掃除用洗剤	7	4	8	2		
10 塩(調理用)	5	3	8	1	24 ミネラル水	2	2	5	1	38 楊子	3	8	2	0	3	
11 塩(卓上)	4	2	1	8	25 紅茶(葉)	9	3	3	1	6	39 化粧水	2	5	0	7	
12 コショウ	1	8	4	1	26 ティーバッグ	1	4	3	9	4	40 香水類	1	4	6	8	
13 スパイス類	3	4	7	6	27 コーヒー	2	0	2	2	6	41 クリーム類	2	5	0	7	
14 砂糖	5	8	3	0	28 インスタント	0	4	7	2	42 ティッシュ	8	4	3	7		

A: 詰め替え使用中

B: 詰め替えて使用しない

C: 適当な容器があれば詰め替えたい

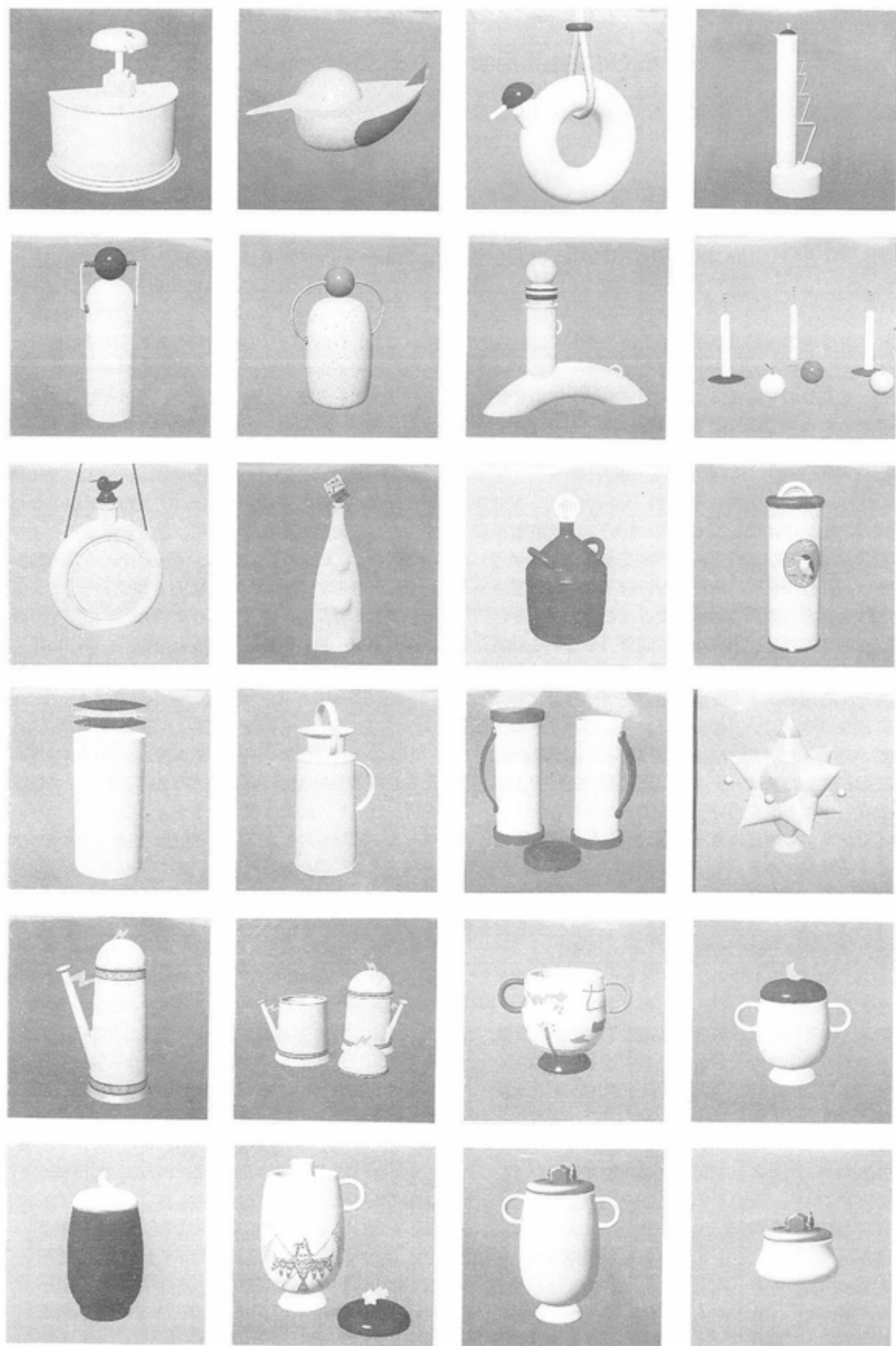


写真1 CADによるデザイン展開

を購入しているかによって詰め換え容器の必要度が大きく左右されている。また調理用の塩、砂糖のように容量が大きいものは概してパッケージが質素であり、詰め換えて使用される頻度が高いが、ケチャップやマヨネーズなどでは、見た目は良くないものの使いやすさからかチューブ式パッケージのまま食卓で使われるため、詰め換え意識は低い。全体的に言える事は販売されている単位が大きいほど、また質素なパッケージほど、その商品の詰め換え容器に対する需要も増すと思われる。また、省資源やリサイクルに対して関心はあるものの、パッケージの簡素化や詰め換えて使用することについてはまだ意識は低いと言えるが、それぞれの商品に対して適切な詰め換え容器が提供されるならば、意識が向上するとともに需要が増えると思われる。

そこで本年度は、最近若い人を中心にシャンプーに対する関心が高まっており、非常に沢山の種類のシャンプー、

液体ソープ、ポンプ付き容器が店頭或いは家庭にみられることに注目し、シャンプーディスペンサー、ソープディスペンサーを中心に開発アイテムを決定した。

3. CADによるデザイン展開

シャンプーディスペンサー、ソープディスペンサーを始め、牛乳容器、多目的容器、多目的食器等についてCADの3次元シミュレーション機能を使ってレンダリングを作成した。そのうち24アイテムを写真1に示す。

4. 試作

CADによるレンダリングの中から5アイテムを選定し、次の12バリエーションの試作を行った。なお、成形は全て瀬戸地区で得意とされる排泥鋳込により行った。また、ポンプ本体は、プラスチック製の既製品を利用した。

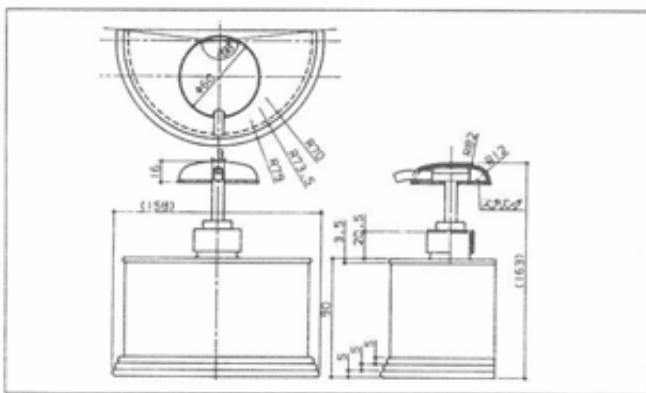


図1 洗面用ソープディスペンサー

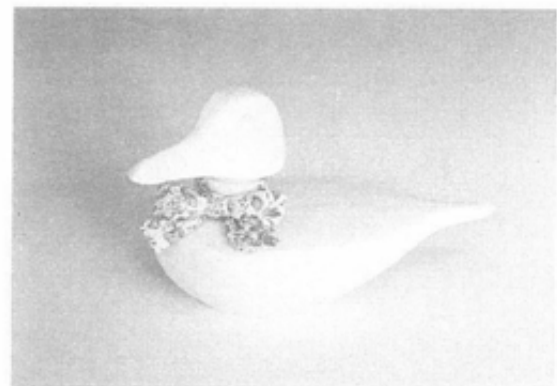


写真3 鴨型ソープディスペンサーA

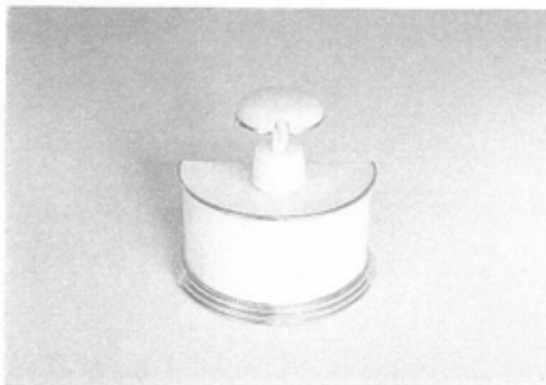


写真2 洗面用ソープディスペンサー

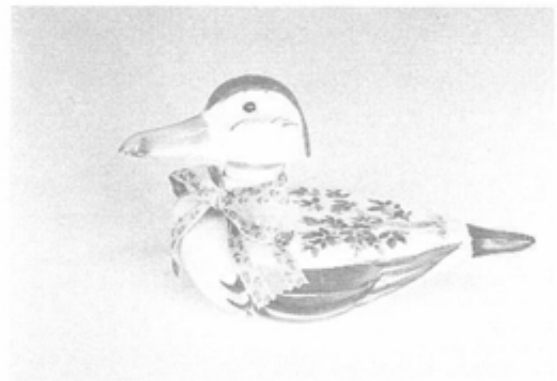


写真4 鴨型ソープディスペンサーB

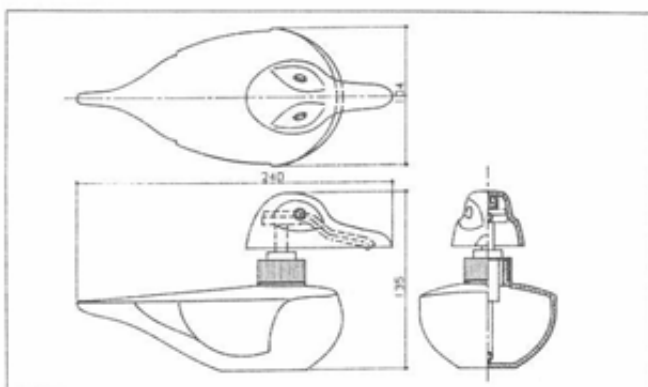


図2 鴨型ソープディスペンサー



写真5 鴨型ソープディスペンサーC

4. 1 洗面用ソープディスペンサー

レストランや、ホテル、ヘアサロンなどの洗面カウンターにマッチするようデザインしたハンドソープまたはシャンプー用のディスペンサー。白磁の素地に金のラインで加飾し、華やかなデザインとし正面中央部には、シンボルマークや店名等のロゴをいれるスペースを設けてある。

(写真2、図1)

4. 2 鴨型ソープディスペンサー

家庭や、ペンションなどの洗面台での使用を考え、かわいい鴨をモチーフに、インテリア感覚で楽しめるものとした。素地は、磁器、白磁を用いたが、産業廃棄物の有効利用という観点から、瀬戸地区で生産される珪砂の副成物、鉄砂を添加した磁器素地も用いた。(図2)

A：素地を白磁にすることで清楚で上品なイメージにまとめた。ボディに羽のパターンのレリーフを施し

て、立体感を強調した。(写真3)

B：白磁のボディに呉須(下絵)で加飾、背面に樹木の絵柄を配した。(写真4)

C：白磁のボディ全体に、金彩を含む上絵で花のパターンを描いた。(写真5)

D：磁器に呉須(下絵)による古代風のパターンを配した。(写真6)

E：濃淡2種類の青色による大胆なアクセントパターンとかわいい小花を散らした。(写真7)

F：磁器土に鉄砂を配合し、自然石風のテクスチャーとすることで質感の面白さを狙った。また側面翼部分に、羽根模様の線彫りを施し鴨らしさを強調した。(写真8)



写真6 鴨型ソープディスペンサーD

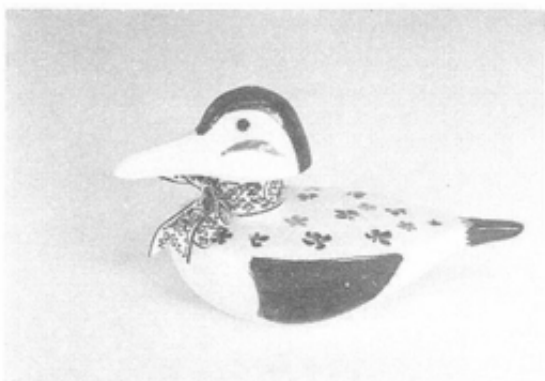


写真7 鴨型ソープディスペンサーE

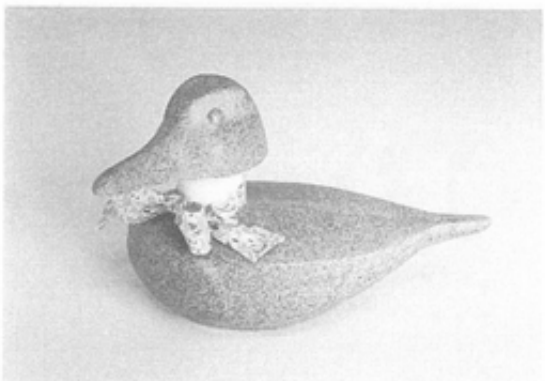


写真8 鴨型ソープディスペンサーF

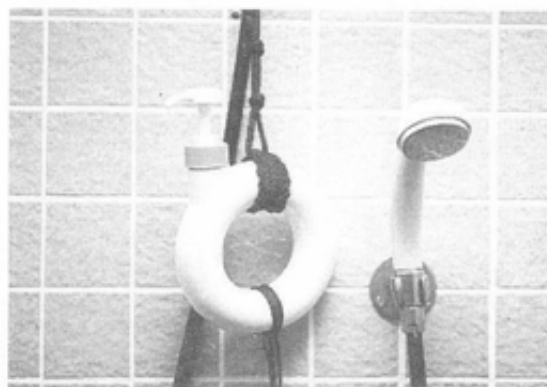


写真9 シャワー用シャンプーディスペンサー



写真10 シャワー用シャンプーディスペンサー



写真11 シャワー用シャンプーディスペンサー

4. 3 シャワー用シャンプーディスペンサー

シャワーの普及によりシャンプーをシャワーでするのが一般的になっている。形状をリング状にすることにより、ロープを巻き付けて浴室のシャワーフックに吊り下げて使用できるようにし、シャワーでのシャンプーに快適なディスペンサー。素地は、清潔感のある白磁を使用したもの及び、磁器に鉄砂を混入し渋さを出したものの3種類を制作した。(写真9~11)

4. 4 多用途ボトル

日常の生活空間を楽しく演出し、生活に彩りを加えることを主目的とし、装飾性を重視した詰め換え用の容器。多目的に使用可能な形状とし、使用目的をとくに限定せず消費者の自由な発想で用途を決定する新しいタイプの容器である。

A：白磁製。蓋を取って花器に、ジョッキーや、マグカップにもなるが、取っ手の部分は穴が貫通しており、水差しなど多目的に使用できる。上絵転写により、アラビア風の太陽と星をモチーフにしたライン柄を施した。(図3、写真12)

B：白磁製。鳥をモチーフに、蓋と、取手に上絵の金とタークワイズの彩色を施し、容器としてより装飾性を加味したインテリアボトルである。

(図4、写真13)

付記

本研究において試作したディスペンサーは「陶&くらしのデザイン展」にて日本陶磁器意匠センター賞を受賞した。

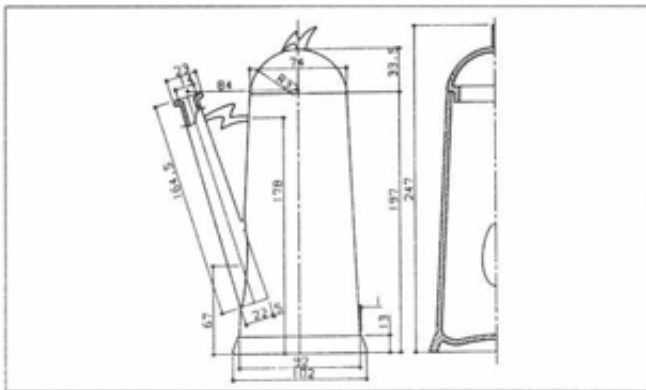


図3 多用途ボトルA

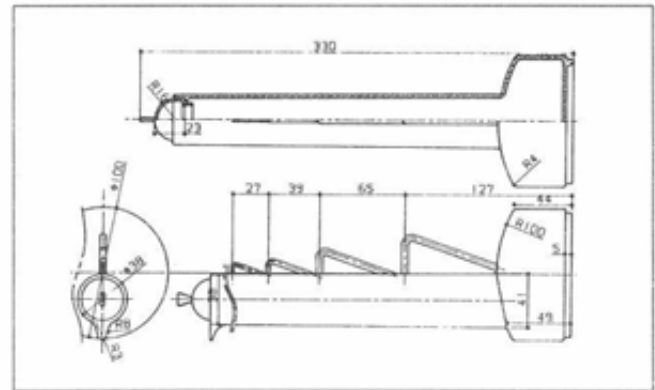


図4 多用途ボトルB



写真12 多用途ボトルA

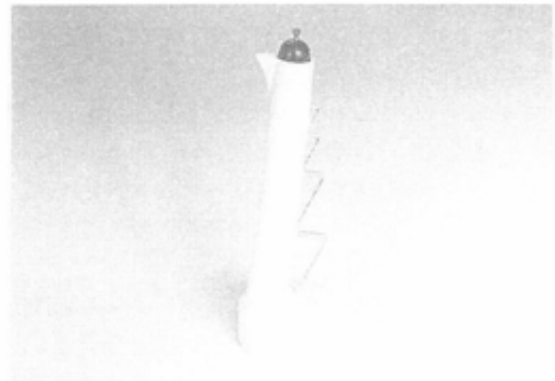


写真13 多用途ボトルB